

平成23年4月14日

プレスリリース

第24次南極海鯨類捕獲調査の土産品の生産と取り扱いについて

共同船舶乗組員に対する土産品については、乗組員（全176名）の要望を取りまとめ、クロミンククジラで生産を行い、次のとおり配布しました。

今回はシーシェパードの妨害による早期切上げに伴う大幅減産のため、分譲品は取りやめとし、土産品についても配布基準を変更しました。

- (1) 土産品については、乗組員から希望を募り、塩蔵畝須であれば、一人当たり1本（1本約2kg）、赤肉であれば2個（1個約0.8～0.9kg）を上限として配布した。ただし、畝須を希望しない者においては、赤肉3個とした。

この結果、配布量は、塩蔵畝須については157名に合計約314kg、赤肉については172名に合計約299kgとなった。

- (2) 今回、分譲品の販売は行わない。
- (3) 実施・管理の透明性を確保するため、共同船舶が船内で一括管理し、下船後、全てとりまとめ、乗組員個人宛に送付した。
- (4) 当該鯨肉代金の精算は、共同船舶が日本鯨類研究所に対し、4月に決定される販売価格に基づいて行うこととしている。

問い合わせ先：
共同船舶株式会社
伊藤（電話：03-5547-1930）